

つなごう 地域の宝を 未来へ



いちのへ議会だより

Ichinohe Town Council News

No.221

岩手県一戸町議会



contents

9月定例会・7月臨時会

02 特集

災害ボランティア
大活躍

- 04 令和3年度決算を認定
- 09 9月定例会 春議内容
- 12 町の未来を問う
【一般質問9氏が登壇】

特集

多くの災害ボランティアさんが大活躍!!

8月3日の大雨被害を受けて

一戸町社協といわてNPO災害支援ネットワーク(INDS)から頂いた情報をもとに災害ボランティアセンター(災害VC)設置等に関して振り返ってみるどん。

8月3日

- 町と共に災害情報収集
- 災害VC立ち上げの要否を検討

8月4日

- 県社協との連携開始
- 災害VC立ち上げへ動き始める

8月5日

- 災害VC立ち上げに向けた会議
- INDSと顔合わせ
- 町、県社協や管内社協、INDSの協力体制について確認し合い、立ち上げを決めた会議となった。

●現地確認

- 前日までの民生委員からの情報を基に県社協、INDS同行のもと被災現場の確認

8月6日、7日

- 災害VC立ち上げ準備
- 拠点確保・ボランティア募集要領策定・役割分担・資機材調達・情報共有フォーム作成等



鳥海小学校大運動会・鳥海地区町民体育大会が合同で初めて開催され、地域住民が交流を深めました。



一戸町議会だより
編集方針

1

読みやすい、
わかりやすい、
町民目線の編集を
心がける。

2

議事、議会活動を
的確に伝え、
町民に見える議会を
目指す。

3

町民の声を
広く聴き、町民と
議会の関係づくりを
深める。

議会や議会だよりに関する
ご意見、ご要望は下記まで

〒028-5311
一戸町高善寺字大川鉢 24-9
「一戸町議会事務局」
Email
gikai@town.ichinohe.iwate.jp

8月17日

- 達増知事視察



8月17日、達増知事が被害状況の確認に来町

それ以降

- ボランティア活動の調整とニーズの再掘起

◎8月末閉所を視野に、需要に漏れがないか再調査

8月31日

- INDSによる「浸水家屋の対応講習会」

◎ボランティアさん、民生委員、社協職員、町職員等参加

- 災害VC閉所

ボランティア参加延べ人数／378人

9月1日以降

- INDSによる支援継続

(住居木材の乾燥・消毒作業、生活再建相談等)

一戸町社協さんの気づき…

- ◆一戸町民にとって災害VCは馴染みがなかったかもしれません。平時から災害VCについて、災害時社協が出来ることについて住民への普及が必要。
- ◆ボランティアに慣れていない地域且つ他人を家に入れることへの抵抗感の強さが課題である一方、地域で何とかしようとする自助力、共助力の高さは地域の強みでもある。
- ◆今回の災害は災害救助法が適用にならないが故の住民の生活再建への苦しみ、困り感が大きかった。被災住民への支援を各機関が連携し合って丁寧に行う必要がある。
- ◆任意団体から農業VC実施に関する相談も受ける等、災害VCをきっかけに住民のボランティアへの興味関心の高まり、自発的な活動、助け合い支え合いの輪につながった。



INDs
千葉 菜津樹さん

災害ボランティアに参加してくださった皆さん、INDsさん、県社協さん、二戸管内の社協さん、消防団員の皆さん、町内会等で自主ボランティアをした皆さん、本当に本当にありがとうございます！これからも助け合っていこうどん！



INDs主催の「浸水家屋の対応講習会」チラシ



講習会にはボランティア委員会、民生委員、社協職員、町職員が参加した

多數の役場職員も作業に加わった

8月8日

- 災害VC開所・活動スタート

◎ボランティア受付・マッチング、送迎・ニーズ受付・マスコミ対応・資機材管理・関係機関との連携・広報活動

◎県内初の試みとなるオールIT、ペーパーレス災害VCとなった。

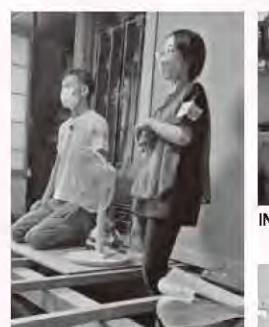
◎開設期間中、二戸管内の社協が連日協力。資機材の調達も、管内社協とINDSで貸し借りできた。

- 町職員の災害VC派遣、協力もスタート

8月12日

- 町が温泉券（町内3ヶ所）や御所野縄文博物館展示室無料券をボランティアにプレゼント

◎ボランティア参加者の声がきっかけとなった。交流人口の増加、ボランティア意欲の向上に繋がった。



INDsと二戸管内の社協さん等から協力いただいた作業道具



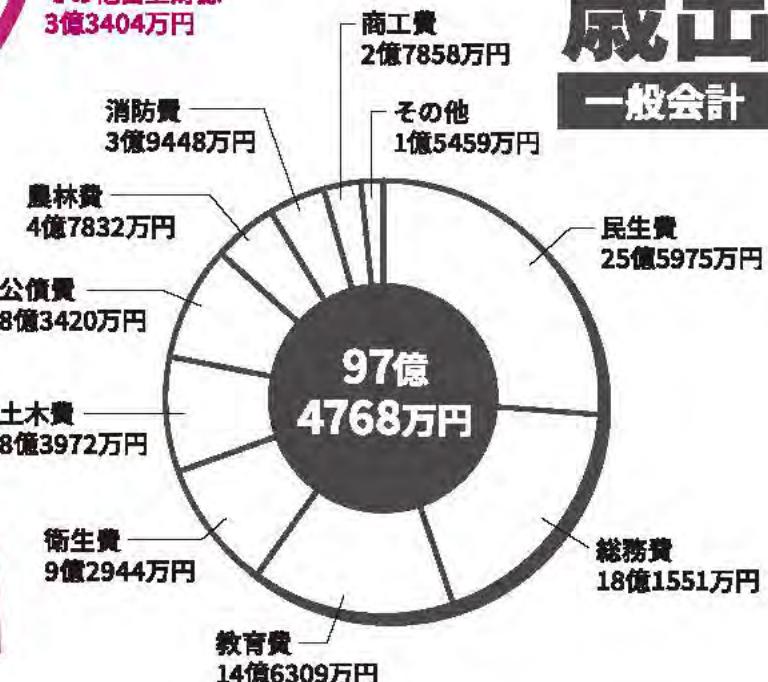
講師はINDsの会員でもある、岩泉にある一般社団法人jumpの千葉泰彦さん（写真左）。ご自身も水害被災の経験がある。
写真提供：INDs

「初めてのボランティアになってしまったが、とても勉強にならなかった」と、参加した高校生

各会計の決算状況

歳出

一般会計



歳入

一般会計



歳出の主な事業

(単位:万円)

事業名	金額
小中学校エアコン設置事業	2億8759
県道街路事業	1億7924
新火葬場新築工事監理委託事業	1億7940
住民税非課税世帯に対する臨時特別給付事業	1億6610
小中学校改修事業	1億3684
光ファイバー網整備事業	1億3327
子育て世帯への臨時特別給付事業	1億2507
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億1529
子育て支援大越田住宅改修事業	1億606
防災行政無線デジタル化更新事業	7210

一般会計決算収支状況

(単位:万円)

区分	金額	適用
歳入総額	A 102億4077	
歳出総額	B 97億4768	
歳入歳出差引額	C 4億9309	A-B
翌年度に繰り越すべき財源 D	2億3500	
実質収支 E	2億5809	C-D
単年度収支 F	△1074	
財政調整基金積立額 G	2億6094	
繰上償還金 H	0	
財政調整基金取り崩し額 I	0	
実質単年度収支 J	2億5020	F+G+H-I

水道事業会計決算(損益計算書)

(単位:万円)

営業収益	2億7774	
営業費用	2億5697	
営業利益	(A) 2077	
営業外収益	5276	
営業外費用	1516	
営業外損益	(B) 3760	
経常利益(A+B)	5837	
特別利益	0	
特別損失	0	
当年度純利益	5837	



写真／世界文化遺産登録記念行事(令和3年7月28日)

9月定例会は9月8日から21日までの14日間の日程で開催されました。

定例会では、報告3件、議案6件、認定8件が提出され、令和3年度決算関連の認定8件は、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会に付託し審査しました。審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決し、決算審査特別委員会を開会しました。議員発議された意見書1件は可決され國に提出されました。

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制限が課された1年でした。地域経済への影響が大きく、その対応として国等の経済対策事業が実施されました。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金としてプレミアム付き商品券の発行、事業継続給付金交付事業等により商工業者等の事業継続への支援を行つたほか、小中学校教室へのエアコン設置、町内全域への光ファイバーネットワーク整備事業などの環境整備にも取り組みました。

また、7月には町民待望の御所野遺跡の世界遺産登録が実現し、コロナ収束後の来訪者増加に対応するため、博物館ミュージアムショップのリニューアルや、認知度向上展示会開催のほか、街中への誘導のため、まちなか交流施設の整備等おもてなし態勢の充実に取り組みました。

一般会計歳入歳出決算額は、歳入総額102億4077万円に対し、歳出総額は97億4768万円で、形式収支は4億9309万円となりま

すが、令和4年度へ繰り越すべき財源及び令和2年度実質収支額を控除了した単年度収支は1074万円の赤字となりました。歳入の自主財源の総額は29億3774万円で、前年に比べ5億3514万円の減となりました。

区分	額・値
標準財政規模	55億5648万円
財政調整基金現在高	15億8653万円
減債基金現在高	1億5942万円
国保事業財政調整基金現在高	0万円
土地開発基金現在高	2億330万円
実質収支比率	4.6%
経常収支比率(※1)	87.0%
財政力指数	0.34
実質赤字比率	—
連結実質赤字比率	—
実質公債費比率(※2)	7.8%
将来負担比率(※3)	13.2%

※1 経常収支比率

町税や普通交付税など毎年収納される一般財源が、人件費、扶助費、借入金の返済など毎年支出しなければならない予算にどれだけ振り分けられているかを表す指標です。この比率が高くなるほど、臨時の経費に使う財源の余裕が少くなり、財政運営が厳しくなります。

※2 実質公債費比率

町の借入金の返済などのうち、実質的な負担額の財政規模に関する割合を表す指標です。

※3 将来負担比率

町が支出している法人なども含め、将来町が支払わなければならない借入金の返済金や職員の退職金などの合計額から基金残高や普通交付税で補てんが約束されている額を除いた額の財政指標に対する割合を表す指標です。

～令和3年度～

決算審査特別委員会での審議内容

歳出

総務費
移住希望者の受け入れ体制について

【柴田】宅地、田畠、等の町有財産がありますが、農家の方や農業をやりたい移住者たちに提供してはどうですか。



答 72地区のうち50地区が利用しました。利用がない22地区については、ここ数年間は使われていないところが多い状況です。

【田中】制度を利用した地区はどれくらいありますか。また、利用がない地区については、毎年利用していない状況ですか。

地域担当職員制度について

町税の滞納対策について

【木戸】年々滞納額や滞納者が増加しています。町税は自家財源確保の基本であります。その対策について伺います。



地域担当職員制度を活用して整装したごみ集積所

災害見舞金について

【山館】災害見舞金は災害認定や支払いの決まりはありませんが、今後、床上浸水見舞金の増額や、床下浸水被災者にも見舞金の支給検討をお願いいたします。



いちのへじょうもんの里こども園

【田頭】子育て支援の町一戸に相応しいよう保育施設が一日も早く更新され、より良い保育環境と職員の職場環境を整備していただきたい。

答 見舞金については要綱を定めており、床上浸水以上の被害を受けた方、火災により住家の全焼・半焼といった方、また、不幸にしてお亡くなりになられた場合などにお支払いしているものであります。支給の期限は要綱上は特に設けておらず、被害が確認された都度支給している状況です。



いちのへじょうもんの里こども園

児童福祉費、保育所費について

【山館】災害見舞金は災害認定や支払いの決まりはありませんが、今後、床上浸水見舞金の増額や、床下浸水被災者にも見舞金の支給検討をお願いいたします。

答 用地の選定、予算の確保、将来的な園児の動向を見ながら、時間が必要ですが、整備計画を進めてまいります。園長先生と情報交換しながら、応急処置等に素早く対応していきます。



いちのへじょうもんの里こども園

【田頭】子育て支援の町一戸に相応しいよう保育施設が一日も早く更新され、より良い保育環境と職員の職場環境を整備していただきたい。

答 見舞金については要綱を定めており、床上浸水以上の被害を受けた方、火災により住家の全焼・半焼といった方、また、不幸にしてお亡くなりになられた場合などにお支払いしているものであります。支給の期限は要綱上は特に設けておらず、被害が確認された都度支給している状況です。



いちのへじょうもんの里こども園

消防費
自主防災組織について

衛生費
鳥獣被害対策について

【中瀬】猪が多く民家の近くまで来て田畑を荒らしており、地域住民が非常に苦労しています。畠や電気柵等を借りたり購入しやすい仕組みを期待しますが、考え方を伺います。

【答】畠等の貸与や電気柵は補助金の交付もありますので、担当課にご相談いただければと思います。補助には2分の1補助で10万円を限度としており、予算の余裕もあります。そのため、地域住民に対して周知を図っていくたいと考えます。

【問】この制度を活用できました。

【答】この制度は災害等の復旧を目的としたものではないため

【問】「土川」この埋め立て地は町有地ですか。

【答】蛇ノ島埋立地委託料について

【問】「土川」この埋め立て地は町有地ですか。

【答】蛇ノ島埋立地委託料について

【問】「赤畑」8月の大雨により農地に被害を受けている場合は、この制度を活用できますか。

【答】この事業は災害等の復旧を目的としたものではないため

【問】「赤畑」8月の大雨により農地に被害を受けている場合は、この制度を活用できますか。

【答】道の駅整備事業は、今年3月に地滑り地帯に指定されたため事業を停止している状況です。基本設計については、国との協議等において基本となる資料である際にはスケジュールを短縮する上で非常に大切な成果品であると考えます。現在は県



自主防災組織の訓練の様子



自主防災組織の訓練の様子

商工費
道の駅整備事業
基本設計について

【問】「蛭」令和3年度に

【問】「赤畑」8月の大雨

【問】「赤畑」8月の大雨

【問】「赤畑」8月の大雨

【問】「赤畑」8月の大雨

【問】「赤畑」8月の大雨



自主防災組織の訓練の様子



自主防災組織の訓練の様子

教育費
ICTを活用した教材の効果的な利用について

【問】「仁昌寺」小中校生に一人一台配備されたタブレット端末について、検索ソフトが使いにくとの声が子どもたちから寄せられていますが、対処していただけませんか。

【問】「仁昌寺」小中校生に一人一台配備されたタブレット端末について、検索ソフトが使いにくとの声が子どもたちから寄せられていますが、対処していただけませんか。

【問】「仁昌寺」小中校生に一人一台配備されたタブレット端末について、検索ソフトが使いにくとの声が子どもたちから寄せられていますが、対処していただけませんか。

【問】「仁昌寺」小中校生に一人一台配備されたタブレット端末について、検索ソフトが使いにくとの声が子どもたちから寄せられていますが、対処していただけませんか。

【問】「仁昌寺」小中校生に一人一台配備されたタブレット端末について、検索ソフトが使いにくとの声が子どもたちから寄せられていますが、対処していただけませんか。

【問】「仁昌寺」小中校生に一人一台配備されたタブレット端末について、検索ソフトが使いにくとの声が子どもたちから寄せられていますが、対処していただけませんか。

消防費
自主防災組織について

【問】「上山」自主防災組織を結成してから10年以上経過した組織もあります。備品には卓上コンロやガスボンベ等もあります。劣化による二次災害も考えられるため確認が必要だと思いますが、いかがですか。

【問】「上山」自主防災組織を結成してから10年以上経過した組織もあります。備品には卓上コンロやガスボンベ等もあります。劣化による二次災害も考えられるため確認が必要だと思いますが、いかがですか。

【問】「上山」自主防災組織を結成してから10年以上経過した組織もあります。備品には卓上コンロやガスボンベ等もあります。劣化による二次災害も考えられるため確認が必要だと思いますが、いかがですか。

【問】「上山」自主防災組織を結成してから10年以上経過した組織もあります。備品には卓上コンロやガスボンベ等もあります。劣化による二次災害も考えられるため確認が必要だと思いますが、いかがですか。

【問】「上山」自主防災組織を結成してから10年以上経過した組織もあります。備品には卓上コンロやガスボンベ等もあります。劣化による二次災害も考えられるため確認が必要だと思いますが、いかがですか。

【問】「上山」自主防災組織を結成してから10年以上経過した組織もあります。備品には卓上コンロやガスボンベ等もあります。劣化による二次災害も考えられるため確認が必要だと思いますが、いかがですか。

令和3年度決算に対する意見・要望

町民皆様の
安全・健康を守り
災害に強く安心して
暮らせる町づくりを！



決算審査特別委員長
山館 章子

令和3年度決算に対する意見・要望を集約した結果、次のとおり意見・要望を付すこととしました。

1 各特別会計歳入 歳出決算

- ① 一般会計及び各特別会計歳入
- ② 移住希望者への有意義な情報発信に努めるとともに、住居や生業の提供など、受入体制の強化を図られたい。
- ③ 野生鳥獣による農作物被害の増加が懸念されるため、関係団体と連携を図り、有害鳥獣駆除体制の充実強化を進められたい。

- ④ 自主防災組織の育成強化を図るため、組織運営の研修会の開催や組織相互間の情報交換を進め、組織協議会の設置などを図る場として、連絡交換を進め、交流を検討されたい。
- ⑤ 各特別会計について、今後も事業勘定特別会計については、今後も評価するものである。国民健康保険事業の収納率向上に取り組むとともに、医療費抑制に向けて見・早期治療につながる健康づくりに鋭意取り組まれた。



東京都で開催された移住相談会の様子

より厳しい状況にあるが、今後も事業費用の一層の節減等に努め、財源の確保を図りつつ、長寿命・耐震化対応の管路への更新を進めながら、持続可能な水道事業を見据え、計画的な整備に努められたい。

決算審査過程における個別の意見・要望については、今後の予算執行にあたり、その趣旨に沿うよう配慮されたい。

3 決算審査における個別の意見・要望

2 水道事業

報告 1	令和3年度一戸町健全化判断比率の報告 実質赤字比率ー、連結実質赤字比率ー、実質公債費比率7.8（前年8.7）、将来負担比率13.2（前年21.8）
報告 2	令和3年度一戸町資金不足比率の報告 いずれの特別会計も資金不足無し
報告 3	株式会社結愛サービス公社の経営状況報告 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づく報告
議案 1	指定管理者を指定することに関し議決を求めるについて（奥中山高原施設） 指定管理者 奥中山高原株式会社（継続） 指定期間 令和4年10月1日～令和9年9月30日（5か年）
議案 2	物品の購入について（新火葬場用備品） 購入金額 941万円 購入先 株式会社カワセイ（一戸町）
議案 3	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定 国家公務員の例に準じて、育児休業制度の緩和、拡大等をしようとするもの
議案 4	令和4年度一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ1億6920万円を増額し、総額をそれぞれ84億8550万円とするもの (詳細は10ページ)
議案 5	大雨・日照不足等による農作物等の被害の被災納税者に対する町税の減免に関する条例の制定 令和4年の大雨・日照不足等による農作物等の被害の被災納税者に対して課し、又は課すべき令和4年度分の町民税及び国民健康保険税を減免することを目的とする
議案 6	令和4年度一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ9億7750万円を増額し、総額をそれぞれ94億6300万円とするもの (詳細は10ページ)
発議案 1	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出 詳細は11ページ

議長交際費 令和4年7月～9月執行状況

区分	7月	8月	9月	
祝 金	1件	5,000円	1件	5,000円
会 費	—	—	1件	30,000円
見舞金	—	—	—	—
弔慰金	—	—	—	—
接 遇	—	—	—	—

※交際費の主な分類	
祝 金	慶事、式典、祝賀会、各種懇親会等の祝金など
会 費	慶事、各種懇談会等の会費
見舞金	病気、入院等の見舞金
弔慰金	香典など
接 遇	視察来訪等の賄い、視察先へのお土産など

請願 × 意見書

請願①

採択 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるため、2023年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願

▼審査内容

現在、学校現場では、学級編制基準に基づいた定数内配置や育児休暇・病休者の代替え措置が未充足であるなど、慢性的な教員不足により教材研究や授業準備に支障をきたしています。加えて、いじめ、不登校や別室登校、貧困、複雑な家庭環境など問題が多様化・細分化し、より細やかな指導が必要とされていますが、その対応のための人員は十分に配置されておりません。新型コロナウイルス感染症対策とともに新たな業務も教職員の多忙化に輪をかけています。

また、全国のどこに住んでいても一定水準の教育を受けることは憲法で保障されている権利であり、国の施策として定数改善にむけた財源保障が必要であると判断しました。また昨年6月定例会にも同趣旨の請願を委員会において採択しており、今回も「採択」としたものです。

【全会一致】
(総務教育民生常任委員会)

今 期定例会には請願2件が提出され、総統審査としていた請願1件とともに委員会で審査を行いました。本会議では、全ての請願が採択されました。また、議員発議された意見書1件は可決され、閣議機関に提出されました。



請願②

採択 町道奥中山駅前中央南線の改良舗装についての請願

▼審査内容

請願箇所の区間は、主要地方道葛巻日影線と接し、日常の生活道路として利用されていますが、軟弱な地盤や路肩が弱いため、車両の通行に支障を来している状況です。

地区住民の快適な暮らしを支えるため、当該道路の改良舗装の実現に向け、他の整備路線との優先度を見極めたうえで、予算の確保に努め、計画的かつ効果的な道路整備を進めるべきとの判断から、本請願を「採択」としたものです。

【全会一致】
(産業建設常任委員会)

請願③

採択 馬淵川沿いの水防対策についての請願

▼審査内容

近年、全国各地で水害が頻発、激甚化する中、馬淵川沿いの当該地区においても、先般の大雨により、床上・床下浸水が発生したところであり、地域住民の不安は一層強まっています。

これでも、幾度となく被害に見舞われていることから、馬淵川流域の抜本的な水防対策を講じる必要があります。町においては、住民の生命と財産を守るために、国や県と一緒にその実現に向けて、早急に取り組むべきとの判断から、本請願を「採択」としました。

【全会一致】

(産業建設常任委員会)

意見書

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

▼要望事項

1 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、教職員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。

2 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の彈力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。

3 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

▼提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣



一般議案質疑

問 奥中山高原施設について、養魚場やジエラートなど赤字が続いている部門がありますが、他の事業者に委託するなど方法があると思います。今後の方策を伺います。



ると考えられるため、これまで営業を続けてきたノウハウを活かし、集客や売上げを伸ばしていくべきではないかと考えます。

令和4年度 一般会計補正予算(歳出)の主な内容

第3号

- 町道向町大川鉢線道路改良事業… 2528万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業… 2430万円
- 奥中山高原施設改修等事業… 800万円

第4号

- 公共土木施設火災復旧事業… 5億7190万円
- 大雨等農作物被害農家緊急支援事業… 2億円
- 農林施設災害復旧事業… 9200万円
- 町道等維持補修事業… 5797万円
- 農地小災害復旧事業… 3000万円
- 災害廃棄物処理事業… 1226万円

9月定例会 賛否が分かれた議案

議案	大澤恵里子	中嶋秀人	木戸繁男	山館章子	田中新吉	仁風寺泰夫	田頭健造	赤畠博	柴田正三	岸勇男	中瀬春英	上山文雄	土川昭悦	駒木二郎	結果
議案第1号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	一	原案可決
議案第4号	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	●	○	○	一	原案可決



表の見方
「○」は賛成、「●」は反対、「-」は採決に加わらなかったことを表します。駒木議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

※議案内容は9ページ参照

報告1	株式会社一戸夢ファームの経営状況報告 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき報告するもの
報告2	奥中山高原農協乳業株式会社の経営状況報告 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき報告するもの
議案1	令和4年度一戸町一般会計補正予算(第2号) ●歳入歳出それぞれ5719万円を増額し、総額をそれぞれ83億1630万円とするもの ●主な内容 【歳出】プレミアム付商品券発行事業(4400万円)、小中学校感染症予防対策事業(640万円)、各種スポーツ大会派遣費補助事業(168万円)、一戸まつり実行委員会補助事業(74万円)

令和4年第3回臨時会を7月12日に開催しました。議案1件は、審議の結果、原案どおり可決されました。

1周年記念
世界遺産登録
プレミアム付き商品券を発行

7月臨時会



町政の未来を問う

一般質問

一般質問は、行政全般にわたり疑問点をただし、町の所信を求めるもので、定例会で行います。質問は、議員と町長が対面し、一つの質問をして一つの回答を得る「一問一答方式」です。1人50分の制限時間内で質疑を繰り返します。

土川 昭悦 議員 P13



- ①災害復旧に向けた町長のリーダーシップについて
②指定管理者制度について

P13

柴田 正三 議員 P14



- ①世界遺産と町内文化財の連携について

P14

中瀬 春英 議員 P15



- ①災害時対応について
②一戸高校統合について

P15

峠 勇男 議員 P16



- ①高校再編について
②奥中山高原施設について

P16

田中 新吉 議員 P17



- ①8月3日に発生した大雨による被害状況について
②コロナ感染症の状況について

P17

中嶋 秀人 議員 P18



- ①被災農家の支援について

P18

木戸 繁男 議員 P19



- ①大雨災害時の水防対策について
②防災対策について

P19

赤畑 博 議員 P20



- ①孤立集落の発生防止について

P20

仁昌寺泰夫 議員 P21



- ①大雨の治水対策について
②スポーツ施設の広域連携について

P21

議会中継をご利用ください!

12月定例会は12月初旬開会予定です。会期が決定後、一戸町のホームページなどでお知らせします。町ホームページでの議会中継のライブとオンデマンドをぜひご利用ください。

<https://www.town.ichinohe.iwate.jp/> 議会中継をクリック

災害復旧

町長のリーダーシップは攻めの姿勢で取り組む



土川 昭悦 議員

【町長】現在、国や岩手県に対しても強い働きかけを行っていまますし、8月17日に、県知事と県議会議長の現地視察時には、緊急要望として、馬淵川の抜本的な改良改良と県による岩根橋の架け替えを要望いたしました。

また、9月4日には、

【町長】災害復旧における取り組んで頂いていることに対し感謝申し上げます。二次・三次災害に向けて、特に岩根橋の改良・改善に町長のリーダーシップを發揮して、待つではなく攻める姿勢で取り組んでいただきたい。

私は鈴木議長で鈴木財務大臣に面会し、同様の要望を行つており、河川改良について前向きな言葉をいたいたところであります。さらに、9月9日には、県庁での緊急要望を行い、要望内容については、スピード感をもつて検討を進めていただいていると聞いております。

私はいたしましては、岩根橋の架け替えを含む馬淵川の抜本的な改良を、今後の災害予防対策の一丁目一番地として捉えており、攻めの姿勢で取り組んでもあります。

【町長】指定管理者者が施設の管理運営を行うために必要な経費については、①すべてを利用者からの利用料金で賄う方法(利用料金制)②すべてを町からの指定管理料で賄う方法(利用料金制)③一部を利用料金で賄い、不足分を指定管理料で賄う方法(利用料金制)の3

を採用せず、放牧料と乾草販売料は町の収入としております。

【町長】宇別牧野は、自助努力やコストの効率化が期待できることから、指定管理者の意向も踏まえて利用料金制を探用しております。

高森牧野についても、必要経費の全額を指定管理料で賄つており、指定管理者の意向も踏まえて利用料金制を採用しております。



サラダボウル・こすや

世界遺産 町内文化財との連携は 連携強化を図ります

問 今年度実施した組織機構改編により、文化財保護の所管が生涯学習課から世界遺産課に移行し、世界遺産と町内文化財との連携が大きく期待されるところです。御所野遺跡出土の矢じりの材料には珪化木が用いられ、また土器の底に付いた圧痕は土器を作った時に敷物とされた繩文物だったことが分かり、地域外にPRとしていた可能性が高いといわれています。このことからも、御所野ムラで生活していた繩文人と現代を生きる私たちまで、しっかりと繋がりがあることが分かり、地域外にPRする

る大きな魅力の一つになると考へています。御所野遺跡だけに焦点を当てるのことなく、世界遺産登録を契機に国指定特別天然記念物の「根反の大珪化木」や国指定名勝「鳥越山」などその魅力を広く発信していく必要があると考えます。組織機構改

編後の取り組みとその結果、並びに今後の文化財振興策について教育長の所見を伺います。

また、町の特徴を際立たせる貴重な文化資源を観光振興に有効活用するため、どのような施策を講じるつもりか町長の所見を併せて伺います。

根反の大珪化木

答 「教育長」 教育委員会としては、昨年世界遺産登録以降、御所野遺跡と他の文化財との連携を念頭に置いて事業に取り組んでおります。昨年には各地区公民館の主催により、御所野遺跡に加え根反の大珪化木、旧朴館家住宅など地域の文化財を訪れる「いちのへ魅力再発見ツアーア」を開催しました。

また今年は、御所野遺跡のほか鳥越山や藤島のフジなど町の指定文化財マップを作成しました。その他にも御所野繩文公園のイベンントでは地域に伝わる郷土芸能の演舞を行う

柴田 正三 議員



など他の文化財を紹介する機会を設けており、4月の組織機構改編において文化財保護の所管が世界遺産課に移行しましたのは、世界遺産と他の文化財の所管部署を統合し連携を強化するものであり、さらに推進してまいります。

答 「町長」 文化資源を活用した観光資源としては、IGRいわて銀河鉄道の銀河鉄道観光が奥州街道や南部藩を巡るツアーチケットを実施し町内の文化財を訪れていただいております。町観光協会で

は昨年度、岩手県からの補助金を活用し国の有形文化財である萬代館と御所野遺跡を組み合わせたツアー企画いたしました。観光客のニーズに応えたテーマにより文化財を繋ぎ合わせることなどがとても重要となつてまいります。また、観光客の傾向には常に着目しニーズに合わせた具体的な取り組みを創出していくこととしてまいります。

災害対応

体制の見直しと再点検を 状況把握と対策本部は

8月3日の大雨による災害時対応について、以下のとおり質問します。

問1 今回の大雨道路の寸断で町職員が直接被害状況を把握するのが困難だったと聞いていますが、町ではどのような状況把握に努めましたか。

【町長】 消防団に

対して警戒活動を

指示し、それに伴う被害

状況の報告を受けたほか、町内会や自主防災組織、町民からの連絡により情報入手しています。その他、県や警察、東北電力などの関係機関からも情報提供を受けておりま

す。
問2 今回の大

雨災害時に基幹

道路の寸断で町職員が直接被害状況を把握するのが困難だったと聞いていますが、町ではどのような状況把握に努めましたか。

で行方不明者が発生している中、廃止判断は早急すぎたのではないですか。

答 「町長」 当町で

4分に洪水警報が解除され、避難されていた方々も帰宅されたことから、同日午前11時をもって避難指示を解除しました。その後、被害状況を一定程度把握してきたものと判断し、同日午後8時に災害対策本部を廃止しました。

しかし、その後も被害情報を想定以上に寄せられたため、翌日午前8時30分に再設置いたしました。基幹道路だけではなく町内各所の道路が寸断されたため、町が情報収集する体制を整えることができなかつた今回のことを教訓として、体制の見直しや

マニュアル等の再点検を行い災害発生時における適切な状況把握と避難発令に努めてまいります。



中瀬 春英 議員

一次産業の
宮農継続に
特段の支援を

問 令和6年度から実施予定の福岡工業高校と一戸高校の統合に至る経緯と現状についてお知らせください。

【教育長】 経緯と

しては、県教育委員会が少子化による生徒数の減少と岩手を担う人材育成のため平成28年に「新たな県立高等学校再編計画」を策定し取組を進めています。令和3年5月公表の最終案では、福岡工業高校の工業科2学科を1学級とし、一戸高校の総合学科3学級と合わせて4学級で令和6年度に統合するものです。

現状と今後ですが、

令和6年度の新設高校

スタートに向け、令和4年7月28日に「県北地区新設高等学校統合検討委員会」を設置し、同日①校名の決定方法②校舎制について検討がなされました。今後は、①校名・校章等、②制服、③PTA体制、④同窓会体制、⑤広報活動等の検討を行います。

今後、一戸高校及び福岡工業高校両校と両地域が協働して学校を支え合う体制整備の構築に、町も積極的に関わっています。

問2

今回大規模被書が出た小

さ。20時に馬淵川の水位が低下したこと

で対策本部が一度廃止されているが字別地区

の他、県や警察、東北電力などの関係機関からも情報提供を受けておりま

す。

問3 8月4日の

20時に馬淵川

の水位が低下したこと

で対策本部が一度廃止

されているが字別地区

高校再編

一戸地区の将来は



岩手県立一戸高等学校

問 県立高校の再編について二戸地域の共通の課題として、将来の高校教育の在り方について一般的な会議や、カシオペア地域の首長中心に検討がなされたと考えますが、どのような話し合いがなされたかお尋ねします。

答 「町長」 高校再編が出席した会議は、岩手県教育委員会主催の「新たな県立高等学校再編計画後期計画の策定に向けた地域検討会議」であり、平成30年12月から令和2年7月までに4回開催されました。この会議には一戸町から、田中前町長、中嶋教育長、一戸町PTA連合会長のほか産業関係の代表が出席しています。

会議では、高等学校教育の現状等の説明があり、後期計画策定に向けた意見交換が行われました。

奥中山高原

町民に愛着を持たれる施設へ施設のあり方検討会を設ける

問 奥中山高原施設について、施設設置の当初目的が、町民の福利厚生の充実を目指すものであることを鑑み、先ず町民の皆さんに利用され愛着を持たれることが前提と考えますが、これらこの施設をどのように運営していく予定か伺います。

答 「町長」 奥中山高原施設に関する件は、町直営時から町民の福利厚生、冬季スポーツの場として皆さまに長年親しまれ運営してきました。一方、センターハウスやスキーキー場を中心的に、利用者の半数以上が町外者

となつてゐる施設は、町観光事業の拠点という位置付けのもと、いかに町外からの集客を強化するか、という観点で経営に当たつきました。奥中山高原施設が指定管理者制度になりました。奥中山高原施設の考え方には、コロナの影響により町外県外の移動が制限される中、町民のリフレッシュや交流をより促進する福利厚生の意味合いの高い朝朱の湯（管理センター）はより町の関与を強めるべき、との考えに至つたものです。町の観光拠点施設となるセンターハウスとスキーキー場は引き続き、会

峰 勇男 議員

町内の状況は
オミクロン株に対応した
ワクチン接種新型コロナ
感染症

問 コロナ感染症に係る一戸町での現状について公表ください。ワクチンの接種状況もあわせて伺います。

答 「町長」 一戸町での現状について公表できます。集団接種の状況としては、令和4年8月末時点ですで日曜日39回、火曜日、木曜日の平日44回実施しており、日曜日は町内開業医、医療機関、薬局、薬剤師、町職員60名程度、平日には岩手県立一戸病院の医師、看護師、薬剤師、町職員等50名程度から都度ご協力いただ

き対応しております。今後、小児の3回目、またオミクロン株に対応したワクチン接種が始まると見込みとなつております。

これまでのこれまでの新型コロナウイルスの感染症患者の累計人數は、9月4日現在で623名となっておりま

す。ワクチンの接種率は、9月1日時点ですで9月1日時点ですで5歳以上12歳未満の15歳以上12歳未満の12歳以上の1回目接種率は96・9%、3回目接種率は97・3%、2回目接種率は96・5%であり、12歳以上の1回目接種率は97・3%、2回目接種率は97・8%となつております。また、60歳以上

までに係る一戸町での現状について公表ください。ワクチンの接種状況もあわせて伺います。

【町長】 一戸町での現状について公表ください。ワクチンの接種状況もあわせて伺います。

【町長】 これまでのこれまでの新型コロナウイルスの感染症患者の累計人數は、9月4日現在で623名となっておりま

す。ワクチンの接種率は、9月1日時点ですで9月1日時点ですで5歳以上12歳未満の15歳以上12歳未満の12歳以上の1回目接種率は96・9%、3回目接種率は97・3%、2回目接種率は97・8%となつております。また、60歳以上

豪雨災害

町内被害への対応は
補正予算の追加提案

問 8月3日に発生した大雨の被害状況を、一戸町で把握している災害状況と現在の対応状況及び今後の対応策を伺います。

答 「町長」 9月6日現在で把握している災害状況と現在の対応状況及び今後の対応策を伺います。また、住家の浸水等による避難状況も併せて伺います。



浸水被害が頻発する向町地区

については、町道26路線で道路決壊や法面崩壊が起き、町管理河川で14河川で護岸決壊等の被害が発生しております。被災が発生しております。

農林業用施設では、農地51か所、水路12か所、農道3路線、林道5路線の被害が確認されております。

これらの被害について各種事業補助や交付金を活用しながら復旧を急ぐ考えであり、今回定例会において、補正予算を追加提案させていただきます。生活再建支援も何ができるか急ぎ検討してまいります。

次に、避難状況ですが、避難指示は504世帯1054人に発令、実際に避難所に避難された方は30世帯62人であります。



田中 新吉 議員

早期復旧と園芸産地の維持

農業基盤



雨災害により、農業においても大きな被害を受けており、農業所得も平年を大きく下回ることが予想されます。

また、復旧を飾り出ことになれば、地域経済が一層落ち込むのではないかと危機感を持っています。

農業基盤の早期復旧

と農業に携わる方への支援による意欲の向上を図ることが急務と考えます。そこで、

①大きな災害を受けた農業の生産再建について、どのように取り組まれるのか。

②異常気象災害による農作物災害の被害者に対する町税の軽減等に取り組まれるのか。

以上の2点について伺います。

【町長】当町の主要作物であるレタスの被害面積は15.1haに及び、ほ場への土砂流入や流出・冠水による被害を受け出

大雨災害

馬淵川の水防対策を抜本的な治水対策の実現を目指す



馬淵川からの浸水に土嚢を積む消防団

防災対策

町の対策は

防災意識の向上等ソフト対策を進める

【町長】町の災害時の避難所の開設・施設の管理状況、食糧・土壌等の備蓄状況、水防団としての消防団の活動状況、各地区の自主防災組織の活動状況、今回は中心となり災害ボランティア活動も行ったのですが、その内容について何を講じておられますか。

【町長】避難所について町では、一時避難所35箇所、収容避難所は全て町有施設のため、管理状況は普段から把握できています。特に収容避難所は頻発すると思われる災害についてどのように対策を講じておられますか。

災害用備蓄品は、7月現在で食料品5,861袋、飲料水(2L入り)1,861本、毛布3,92枚、マスク3千枚や消毒液40L。土嚢は、土入り土嚢が約3,50袋、袋のみで約2千袋確保しています。しかし、食料品を見ても町民の1割に満たない食数であり、今後は災害用備蓄品の拡充の検討をはじめ、食品ロスに配慮した施策、アルギー対応品目への切り替えも進めています。

消防団による水防活動状況については、8月3日から6日まで、把握分のみで延べ1,600人の団員に活動いただき、主な活動内容は土嚢積み、避難誘導、排水作業、崩落地の土砂撤去、安否不明者搜

索等です。自主防災組織では、構成員も被災者にあたるため、自分の身の安全を図りつづけ区の防災活動にあたりました。主な活動内容は、土嚢積み、避難誘導、災害備蓄品の充実や自主防災組織の結成と活動強化、住民の防災意識の向上などソフト対策も進めています。

町としては、ハード整備のほか、災害備蓄品の充実や自主防災組織の結成と活動強化、住民の防災意識の向上などソフト対策も進めています。

町としては、ハード整備のほか、災害備蓄品の充実や自主防災組織の結成と活動強化、住民の防災意識の向上などソフト対策も進めています。

中嶋 秀人 議員



自然災害から農家を守るために

荷能となり、レタス販売減収額は4億円を超える試算です。その他キャベツ、促成アスパラガスなどの露地野菜、トマト、きゅうりなどの施設野菜も、ほ場の冠水や土砂の混入による被害があり、レタスを含めた野菜類の被害面積合計は約2.3haに及びます。花き類についても、リンドウの被害面積が約7haに及び、土砂の流入・冠水による被害に加え、長雨による病気の蔓延により出荷量が減少しています。

①被害を受けた農家の状況を受け、町としては新岩手農業協同

組合と協力し、現在の生活を守るためにの支援と今後の営農継続に対する支援を早急に検討したいと考えています。緊急的な措置として、園芸産地を維持していくために、農家、農協、町で話し合いを継続し、甚大な被害による来年の営農や生活への影響等の情報収集と継続的な支援を検討します。

また、岩手県農業共済組合が行う収入保険制度は、経営を安定させる上で極めて有効な制度であることから、農家に対して同保険への加入促進を強く図ることも、今年度から行うこととしている保険料に対する補助については、来年度以降も継続して実施していきたいと考えます。

②農作物灾害に見舞われた生産者に対しては、平成15年の冷害時同様、町税の減免条例制定により町税の軽減を図りたいと考えています。

これらの施策により農家の皆様が今後の農業経営に希望を持ち営農を継続し、当町の園芸産地を維持していくよう取り組んでまいります。

【町長】雨・洪水被害では、各地区において床下・床上浸水、道路の決壊、農地・農作物等が甚大な被害に遭われました。最近は異常気象により馬淵川沿い等の河川災害が頻発していますが、いまだに対策がなされおりません。町として、県や国と一緒になり抜本的な水防対策を早急に進めています。町長の所見を伺います。

【町長】町ではこれまで岩手県に働きかけ河道掘削等の治水対策を実施しているだけましたが、過去に無かつたような大雨に見舞われる状況であり、抜本的な治水対策が必要だと考えます。このた

一般質問

孤立集落

抜本的な改良を



大雨により欠壊した道路(平穂地区)

回 8月3日

の豪雨災害で平穂地区に通じる道路が寸断され、孤立しかけました。幸いにも大志田ダムにつながる道路はなんとか通行できました。今回通行不能となったところのうち、多くは前回の災害でも通行不能となった箇所です。このことから、根本的に見直し改善しなければ、また同様の被害が発生するものと考えます。以前ゲリラ豪雨などの災害対応は、難しいとの考え方をお聞きした事がありますが、気候変動もあり、今後も同様の災害発生の可能性は高まっており、早急に対応が必要となります。

自然災害に備え
対策の見直しを

赤畠 博議員

緊急性の高い箇所から検討

回 8月3日
の豪雨災害で平穂地区以外も含め、町内の災害多発箇所の見直し改良工事に取り組む必要があると思いますが、町長の所見を伺います。

回 8月3日
の豪雨災害においては、町道平穂線においては道路が欠壊し、一時通行止めとなりました。また、町道小築平穂線においては、平成25年度に被災した箇所が、今回さらには山側からの崩落を防止する工事等を行い、完了は令和10年度頃の予定となっています。

回 8月3日
の豪雨災害においては、予防対策として、平穂地区の他の箇所につきましては、予防対策を実施したいと考えております。

大雨災害

今後の治水対策は順次予防対策を行いたい

問

8月3日の当町を襲った豪雨で小鳥谷地区でも、国道4号線の通行止め、小鳥谷バイパス西側からの土砂の流入による小鳥谷用水路の埋没等多くの被害が出ております。このような状況下で、町は災害対策本部を設置し、対応にあたっていましたが、その時、町長はどうな行動をとったか伺います。また、復旧にかかる時間、予算はどうなっています。しかし、8月4日午後8時、緊急の被害に対する対策はどうするのか伺います。

合 【町長】8月3日、私を本部長とする災害対策本部を設置し対応にあたりました。しかし、8月4日午後8時、緊急の被害

情報の通報等が一旦なくなつたこと、これ以上上の災害の恐れがなくなり、応急対応もめどがつきつあったと判断されました。このまま災害対策本部を再設置し災害対策本部を廃止したことは、判断を早まつたと反省しております。翌日、8月5日にいたしましたが、今後の災害対応について検討したことは、判断を止めました。また、復旧においては約5億円の工事請負費を見込んでおり、時間については、災害査定が11月頃の予定でありますので、その後実施設計を行い、工事発注は2月頃を見込んでおり、時間については、災害査定が11月頃の予定であることがあります。治水対策については、災害復旧事業とは別個のものであることから、今後は必要と考

順次予防対策を行いたい

広域連携

所有施設の有効活用は連携を取りながら進める

合 【町長】管内市町村のスポーツ施設設置状況につきましては、野球場等公共施設を一つずつ持つこととが妥当でしょうか。

一つの市町村で野球場等公共施設を一つずつ持つこととが妥当でしょうか。

少子化が進み人口が減少し、競技人口も減少している状況でその必要性に疑問を呈します。維持費や修繕費も少額ではない施設を有効活用してはいかがでしょうか。町長の所見を伺います。

災害復旧と合わせて
治水対策も!



仁昌寺泰夫 議員

おりますので、今後も各市町村や関係団体と連携を取りながら、施設の有効活用を進めてまいります。



総合運動公園 スコアボード

設置されております。施設の利用については、スポ少や中学校部活動などの練習のほか、管内で各種大会が開催されており、野球場が同時に使用され、開催されます。陸上競技は、競技は地区大会、中総参加チームが多い場合は、4市町村の野球場が同時に使用され、1戸町で行われております。陸上競技は、1戸町で行われており、テニス競技は1戸町と軽米町で各種大会に利用されています。

施設の必要性については、利用状況や、競技力の向上、住民の生涯スポーツ交流人口の増加など、スポーツ振興の観点から、現在の施設数は必要であると考えています。

傍聴者感想&視察・研修報告

7月13日(水)

カシオペア連邦議会議員協議会総会



報告者
田頭 健造 委員

7月13日、カシオペア連邦議会議員協議会総会が二戸市で開催されました。当日は山下正勝県議会議員他5名の来賓を迎え、二戸市、軽米町、九戸村、一戸町から、42名の議員が出席しました。

総会後に岩手県子ども子育て支援室、特命参事兼次世代育成課長の佐々木浩一氏による「岩手県による結婚支援の取り組みについて」と、「いきいき岩手」結婚サポートセンター(j-sapo)センター長の後藤賢弘氏による「いきいき岩手」結婚サポートセンター(j-sapo)の取り組みについてと題してご講演をいただきました。



北部地区町村議会議長会研修会



7月19日、北部地区町村議会議員研修会が二戸市で開催されました。

当日は一戸町、軽米町、洋野町、野田村、九戸村の議会議員等約80名が出席し、「鉄道を生かした地域づくり～三陸鉄道の取り組み～」と題し、盛岡市副市長の中村一郎氏（三陸鉄道株式会社前代表取締役社長）から、「DX時代の地方創生は人こそカギとなる」と題し、一般社団法人次世代社会研究機構代表理事の西田陽光氏より講演をいただきました。



報告者
仁昌寺 泰夫 委員

10月4日(火)

「宮城県松島町議会常任委員会 行政視察」受入れ

宮城県松島町議会教育民生常任委員会等9名が10月4日に御所野遺跡を視察しました。

視察目的は「御所野遺跡を活用した小中学校の文化財教育の取組み」についてでした。松島町では「松島まるごと学」として小学生高学年から故郷の歴史や風土を学んでいるとのことです。

視察の前段に、一戸南小学校御所野愛護少年団員



による御所野遺跡のガイドを行い、はつらつとしたガイド活動に大きな関心を寄せていました。

博物館内で行われた意見交換では、駒木議長が歓迎の挨拶を述べ、中嶋教育長はじめ教育委員会職員から「いちのへ御所野縄文」など、当町の文化財教育の実践内容を熱心に聞き取っていました。

7月19日(火)



まちの声

一戸町地域婦人団体協議会 会員 小野寺 佳子 様

9月13日の一般質問では、8月3日の大雨による異常気象災害発生を中心に質疑が行われ、農作物被害や河川の氾濫による住宅被害、土砂災害など甚大な被害だったことを改めて知らされました。早期復旧対策はもとより、今後の対策は防災面では食糧備蓄方法や防災組織のさらなる拡充と運営方法の確立が急がれる課題だと思いました。スポーツ施設の広域連携については、未来ある子供たちのために中、長期的な展望を持ち解決してほしいです。今後も対話を通じて、さらに住みよい町づくりが求められていると感じました。

一戸町地域婦人団体協議会では、毎年秋頃に会員研修を行っているどん。今年は、8月12日～13日に行われた定例会一般質問の傍聴に来てくれたどん。今回のまちの声は「傍聴者の声」として、会員の小野寺佳子様からいただいた感想を紹介するどん。



傍聴者の声

一戸町地域婦人団体協議会 会員 小野寺 佳子 様

9月13日の一般質問では、8月3日の大雨による異常気象災害発生を中心に質疑が行われ、農作物被害や河川の氾濫による住宅被害、土砂災害など甚大な被害だったことを改めて知らされました。早期復旧対策はもとより、今後の対策は防災面では食糧備蓄方法や防災組織のさらなる拡充と運営方法の確立が急がれる課題だと思いました。スポーツ施設の広域連携については、未来ある子供たちのために中、長期的な展望を持ち解決してほしいです。今後も対話を通じて、さらに住みよい町づくりが求められていると感じました。



平成23年には婦人の森に植樹30周年記念碑が建てられました



婦人の森刈り払い活動

一戸町地域婦人団体協議会
令和4年度 主な活動計画

令和4年

- 5月／総会
- 7月／婦人の森刈り払い
- 8月／縄文の里ナニヤトヤラ踊り、一戸町まつり流し踊り参加
- 9月／会員研修(議会傍聴)

令和5年

- 3月／第43回演芸大会



来年の
8月5日には
漁客大会が
非現実的
ほしいどん!!

第35回 演芸大会

その他、会員の皆様からいただいた貴重なご意見・ご感想は、町議会で共有し、これから議会活動や議会運営に活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

7月6日(水)
～11日(月)



報告者
中嶋 秀人 委員

議員による学校視察(町内小学校5校、中学校2校)

7月6日から11日にかけて、町内小中学校の視察を教育委員会の協力で実施し、私は地元の奥中山小学校と中学校を視察しました。

各学校における環境は、ここ数年で大きく改善が図られたことに大変感心しました。また、小学校では、タブレットの端末を用いた書道の授業や、图形を自由に組み合わせる授業等において、想像力を働かせ柔軟な発想で学んでいる子ども達の姿を見て、自分が学んだ時代との変化に驚くばかりでした。

将来を担う子どもたちの学びの環境向上は、町の人材育成に大きく寄与するものと考えます。



タブレットを活用して効率的に
学習しています

いちのへ議会だより

令和4年11月25日発行
No.221

発行者／一戸町議会議長
編集／一戸町議会広報広聴常任委員会



第12回

一戸町の風景 鳥越千本桜

一戸町にはまだまだ素敵
な風景があるぞん！
鳥越山に向かう途中に
千本桜展望地という場所が
あるぞん！

昔はたくさん桜があったた
けど、現在は少なくなつて
しまい、桜の苗木を植えて
育ててじるといらだん。
展望地から見える隣町
(一戸市)の街並みは絶景
だん。その近くに立つ
イチヨウの大木が魅力的！
黄金の色になり、いまの季
節が見どひだん。
せひみんなで行って
みてどん！

ごしょせん議会だよりクイズ



表紙の大運動会に参加した
鳥海小学校の赤組児童さんは何名でしょうか？

正解者の中から抽選で2名様に「いちのへ商品券」1,000円分をプレゼントします。

【応募方法】

ハガキに答え、住所、氏名、年齢を記入のうえ、右記まで応募してください。
ただし、お一人様1通の応募に限らせていただきます。また、議会や議会
だよりに対するご意見、ご感想などがありましたらあわせてご記入ください。

議会に関する
クイズだん！
ヒントは議会だよりの
中にあるぞん！

【応募先】 〒028-5311 一戸町高善寺字大川鉢24-9
一戸町議会事務局 クイズ係

【締め切り】 12月23日(金)消印有効

【当選者発表】 次回号(2月下旬発行予定)で
発表します。

【前回の答】 3人

【前回の当選者】

加藤様、小守様です。
おめでとうございます。

みんなの応募
持ってるぞん！



あとがき

▼8月3日の大雨災害被
害に遭われた皆様にお
見舞い申し上げます。
早期の災害復旧を望み
ます。

▼3年ぶりの一戸まつり
は、町に元気をもらい
ました。手作り山車、
子どもたちの笛太鼓等
の伝統文化の継続を願
うものです。

▼災害ボランティア活動
に携わられた皆さん、
大変ご苦労様でした。
遠くは東京都から活動
に参加された方もいる
と聞いております。感
謝申し上げます。

▼9月決算議会、災害対
策と補正予算の審議、
農業を始めとする産業
の生業の継続と、町の
活性化を図ります。

▼今年も残り少なくなつ
てきましたが、寒さを
吹き飛ばし頑張りま
しょー。



広報広聴常任委員会
委員 木戸 繁男